

熊薬物語—未来のくすり創りと社会への貢献

明治18年に誕生した熊本大学薬学部（熊薬）は平成22年に創立125周年を迎えました。その間「くすりを創り、くすりを育て、いのちをまもる」を合言葉に研究・教育にチャレンジするとともに、1万人を超える卒業生・修了生を世に送り出しています。

本展示は「熊薬物語—未来のくすり創りと社会への貢献」と題し、「森・水・人からのくすり創り」では創薬に関する取組みを、「熊薬のひとつづくり」では教育等を通じた社会貢献についてご紹介します。

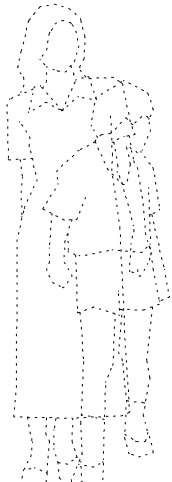
●グラフィックパネルと実物を用いた展示

●透過ディスプレイを用いたタッチパネル式映像展示

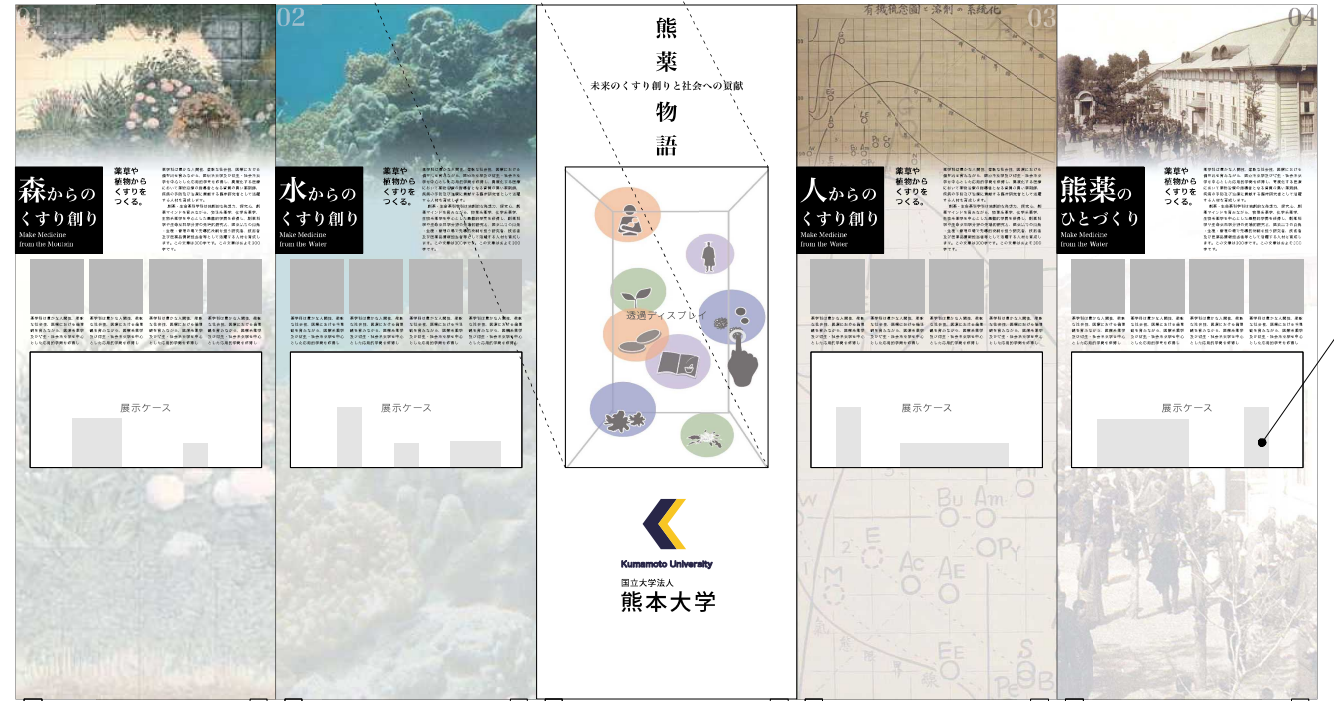


パネル展示と連動した多彩な映像は
タッチパネルで選択できる参加型展示

動画による
学部紹介



パネル側面の展示



パネル正面の展示

薬や医療機器
の実物展示
「にが茶」や
「鹿角霊芝」など

4つのテーマを通して
熊薬の取組みをわかりやすく紹介します

※イラストは検討中のイメージです。実際の展示は変更になることがあります。